【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【公表番号】特表2016-534044(P2016-534044A)
【公表日】平成28年11月4日(2016.11.4)
【年通号数】公開・登録公報2016-062
【出願番号】特願2016-521742(P2016-521742)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/0783　(2010.01)
Ｃ１２Ｎ　5/09　(2010.01)
Ｃ１２Ｑ　1/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　7/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　13/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　15/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　21/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/18　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　13/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　13/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　5/14　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　49/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/538　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/498　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ｃ１２Ｎ　5/0783
Ｃ１２Ｎ　5/09
Ｃ１２Ｑ　1/06
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　37/04
Ａ６１Ｐ　35/02
Ａ６１Ｐ　25/02　１０１
Ａ６１Ｐ　27/16
Ａ６１Ｐ　7/00
Ａ６１Ｐ　43/00　１０５
Ａ６１Ｐ　1/16

Ａ６１Ｐ　13/10
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　15/00
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　19/08
Ａ６１Ｐ　 1/04
Ａ６１Ｐ　21/00
Ａ６１Ｐ　17/00
Ａ６１Ｐ　 1/02
Ａ６１Ｐ　 1/18
Ａ６１Ｐ　13/08
Ａ６１Ｐ　13/12
Ａ６１Ｐ　 5/14
Ａ６１Ｐ　43/00　　１０７
Ａ６１Ｐ　43/00　　１１１
Ａ６１Ｋ　49/00　　Ａ
Ａ６１Ｋ　31/538
Ａ６１Ｋ　31/498

【手続補正書】
【提出日】平成29年8月9日(2017.8.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
有効量のＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビターを含む、個体において癌を処置するかもしくはその進行を遅らせるための組成物。
【請求項２】
有効量のＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビターを含む、癌を有する個体において免疫機能を増強するための組成物。
【請求項３】
前記個体におけるＣＤ８　Ｔ細胞が、前記組成物の投与前より、増強されたプライミング、活性化、増殖および／もしくは細胞溶解活性を有する、請求項１または２に記載の組成物。
【請求項４】
ＣＤ８　Ｔ細胞の数が、前記組成物の投与前より上昇する、請求項３に記載の組成物。
【請求項５】
前記ＣＤ８　Ｔ細胞が、抗原特異的ＣＤ８　Ｔ細胞である、請求項３～４のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項６】
前記癌が、Ｔ細胞浸潤の上昇したレベルを有する、請求項１～５のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項７】
前記癌が、増大した腫瘍内Ｔｒｅｇ細胞密度と関連する、請求項１～６のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項８】
前記癌が、聴神経腫、急性白血病、急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、急性Ｔ細

胞白血病、基底細胞癌、胆管癌、膀胱癌、脳の癌、乳癌、気管支原性癌、子宮頸癌、軟骨肉腫、脊索腫、絨毛癌、慢性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄球性白血病、慢性骨髄性白血病、結腸癌、結腸直腸癌、頭蓋咽頭腫、嚢胞腺癌、びまん性大細胞型Ｂ細胞性リンパ腫、異常増殖性の変化、胎生期癌、子宮内膜癌、内皮肉腫、上衣腫、上皮性癌腫、赤白血病、食道癌、エストロゲンレセプター陽性乳癌、本態性血小板血症、ユーイング腫瘍、線維肉腫、濾胞性リンパ腫、胚細胞性精巣癌、神経膠腫、膠芽腫、神経膠肉腫、Ｈ鎖病、頭頸部癌、血管芽細胞腫、肝癌、肝細胞癌、ホルモン不応性前立腺癌、平滑筋肉腫、白血病、脂肪肉腫、肺癌、リンパ管内皮肉腫、リンパ管肉腫、リンパ芽球性白血病、リンパ腫、Ｔ細胞もしくはＢ細胞が起源のリンパ系悪性疾患、髄様癌、髄芽腫、黒色腫、髄膜腫、中皮腫、多発性骨髄腫、骨髄性白血病、骨髄腫、粘液肉腫、神経芽腫、ＮＵＴ正中線癌腫（ＮＭＣ）、非小細胞肺癌（ＮＳＣＬＣ）、乏突起神経膠腫、口腔癌、骨肉腫、卵巣癌、膵臓癌、乳頭状腺癌、乳頭状癌、松果体腫、真性多血症、前立腺癌、直腸癌、腎細胞癌、網膜芽細胞腫、横紋筋肉腫、肉腫、脂腺癌、精上皮腫、皮膚癌、小細胞肺癌腫、固形腫瘍（癌腫および肉腫）、小細胞肺癌、胃癌、扁平上皮癌、滑膜腫、汗腺癌、甲状腺癌、ワルデンストレーム高ガンマグロブリン血症、精巣腫瘍、子宮癌、およびウィルムス腫瘍から選択される、請求項１～７のいずれか１項に記載の組成物。

【請求項９】

前記癌が、黒色腫、ＮＳＣＬＣ、腎臓癌、卵巣癌、結腸癌、膵臓癌、肝細胞癌、もしくは乳癌である、請求項１～８のいずれか１項に記載の組成物。

【請求項１０】

前記癌が、ＮＳＣＬＣ、卵巣癌、膵臓癌、肝細胞癌、もしくは乳癌である、請求項１～９のいずれか１項に記載の組成物。

【請求項１１】

前記癌が、黒色腫、ＮＳＣＬＣ、もしくは腎細胞癌である、請求項１～８のいずれか１項に記載の組成物。

【請求項１２】

前記ＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビターが、ＣＢＰを阻害する、請求項１～１１のいずれか１項に記載の組成物。

【請求項１３】

前記ＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビターが、ＥＰ３００を阻害する、請求項１～１１のいずれか１項に記載の組成物。

【請求項１４】

Ｔｒｅｇ機能を抑制する、請求項１～１３のいずれか１項に記載の組成物。

【請求項１５】

ＣＤ８$^{+}$　Ｔ細胞のＴ細胞疲弊を低下させる、請求項１～１４のいずれか１項に記載の組成物。

【請求項１６】

前記ＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビターが、ＣＢＰおよび／もしくはＥＰ３００のＨＡＴドメインに結合しない、請求項１～１５のいずれか１項に記載の組成物。

【請求項１７】

前記個体が、ヒトである、請求項１～１６のいずれか１項に記載の組成物。

【請求項１８】

癌の治療および／もしくは処置を含む、医学的処置もしくは診断において使用するための、ＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビターを含む組成物。

【請求項１９】

抗癌化合物を選択するための方法であって、前記方法は、試験化合物がＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビター化合物であるか否かを決定する工程であって、ここでＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビター化合物である試験化合物は、抗癌化合物として選択される、工程を包含する、方法。

【請求項２０】

前記試験化合物がＣＢＰおよび／もしくはＥＰ３００のＨＡＴドメインに結合するか否かを決定する工程をさらに包含し、ここでＣＢＰおよび／もしくはＥＰ３００のＨＡＴドメインに結合しない試験化合物は、抗癌化合物として選択される、請求項１９に記載の方法。

【請求項２１】

前記試験化合物がＴｒｅｇ機能を抑制するか否かを決定する工程をさらに包含し、ここでＴｒｅｇ機能を抑制する試験化合物は、抗癌化合物として選択される、請求項１９または２０に記載の方法。

【請求項２２】

前記試験化合物がＣＤ８$^+$　Ｔ細胞のＴ細胞疲弊を低下させるか否かを決定する工程をさらに包含し、ここでＣＤ８$^+$　Ｔ細胞のＴ細胞疲弊を低下させる試験化合物は、抗癌化合物として選択される、請求項１９～２１のいずれか１項に記載の方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１８４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１８４】

多くの実施形態が記載されてきたものの、これら例は、本明細書で記載される化合物および方法を利用する他の実施形態を提供するために変化させられ得る。従って、本発明の範囲は、例示によって表されてきた具体的実施形態によってではなく、むしろ添付の特許請求の範囲によって定義されるべきである。

例えば、本発明は以下の項目を提供する。

（項目１）

有効量のＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビターを個体に投与する工程を包含する、前記個体において癌を処置するかもしくはその進行を遅らせるための方法。

（項目２）

有効量のＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビターを個体に投与する工程を包含する、癌を有する前記個体において免疫機能を増強する方法。

（項目３）

前記個体におけるＣＤ８　Ｔ細胞が、前記ＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビターの投与前より、増強されたプライミング、活性化、増殖および／もしくは細胞溶解活性を有する、項目１または２に記載の方法。

（項目４）

ＣＤ８　Ｔ細胞の数が、前記ＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビターの投与前より上昇している、項目３に記載の方法。

（項目５）

前記ＣＤ８　Ｔ細胞が、抗原特異的ＣＤ８　Ｔ細胞である、項目３～４のいずれか１項に記載の方法。

（項目６）

前記癌が、Ｔ細胞浸潤の上昇したレベルを有する、項目１～５のいずれか１項に記載の方法。

（項目７）

前記癌が、増大した腫瘍内Ｔｒｅｇ細胞密度と関連する、項目１～６のいずれか１項に記載の方法。

（項目８）

前記癌が、聴神経腫、急性白血病、急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、急性Ｔ細胞白血病、基底細胞癌、胆管癌、膀胱癌、脳の癌、乳癌、気管支原性癌、子宮頸癌、軟骨

肉腫、脊索腫、絨毛癌、慢性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄球性白血病、慢性骨髄性白血病、結腸癌、結腸直腸癌、頭蓋咽頭腫、嚢胞腺癌、びまん性大細胞型Ｂ細胞性リンパ腫、異常増殖性の変化、胎生期癌、子宮内膜癌、内皮肉腫、上衣腫、上皮性癌腫、赤白血病、食道癌、エストロゲンレセプター陽性乳癌、本態性血小板血症、ユーイング腫瘍、線維肉腫、濾胞性リンパ腫、胚細胞性精巣癌、神経膠腫、膠芽腫、神経膠肉腫、Ｈ鎖病、頭頸部癌、血管芽細胞腫、肝癌、肝細胞癌、ホルモン不応性前立腺癌、平滑筋肉腫、白血病、脂肪肉腫、肺癌、リンパ管内皮肉腫、リンパ管肉腫、リンパ芽球性白血病、リンパ腫、Ｔ細胞もしくはＢ細胞が起源のリンパ系悪性疾患、髄様癌、髄芽腫、黒色腫、髄膜腫、中皮腫、多発性骨髄腫、骨髄性白血病、骨髄腫、粘液肉腫、神経芽腫、ＮＵＴ正中線癌腫（ＮＭＣ）、非小細胞肺癌（ＮＳＣＬＣ）、乏突起神経膠腫、口腔癌、骨肉腫、卵巣癌、膵臓癌、乳頭状腺癌、乳頭状癌、松果体腫、真性多血症、前立腺癌、直腸癌、腎細胞癌、網膜芽細胞腫、横紋筋肉腫、肉腫、脂腺癌、精上皮腫、皮膚癌、小細胞肺癌腫、固形腫瘍（癌腫および肉腫）、小細胞肺癌、胃癌、扁平上皮癌、滑膜腫、汗腺癌、甲状腺癌、ワルデンストレーム高ガンマグロブリン血症、精巣腫瘍、子宮癌、およびウィルムス腫瘍から選択される、項目１～７のいずれか１項に記載の方法。

（項目９）

前記癌が、黒色腫、ＮＳＣＬＣ、腎臓癌、卵巣癌、結腸癌、膵臓癌、肝細胞癌、もしくは乳癌である、項目１～８のいずれか１項に記載の方法。

（項目１０）

前記癌が、ＮＳＣＬＣ、卵巣癌、膵臓癌、肝細胞癌、もしくは乳癌である、項目１～９のいずれか１項に記載の方法。

（項目１１）

前記癌が、黒色腫、ＮＳＣＬＣ、もしくは腎細胞癌である、項目１～８のいずれか１項に記載の方法。

（項目１２）

前記ＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビターが、ＣＢＰを阻害する、項目１～１１のいずれか１項に記載の方法。

（項目１３）

前記ＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビターが、ＥＰ３００を阻害する、項目１～１１のいずれか１項に記載の方法。

（項目１４）

前記方法が、Ｔｒｅｇ機能を抑制する、項目１～１３のいずれか１項に記載の方法。

（項目１５）

前記方法が、$CD8^+$ Ｔ細胞のＴ細胞疲弊を低下させる、項目１～１４のいずれか１項に記載の方法。

（項目１６）

前記ＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビターが、ＣＢＰおよび／もしくはＥＰ３００のＨＡＴドメインに結合しない、項目１～１５のいずれか１項に記載の方法。

（項目１７）

前記個体が、ヒトである、項目１～１６のいずれか１項に記載の方法。

（項目１８）

癌の治療および／もしくは処置を含む、医学的処置もしくは診断において使用するためのＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビター。

（項目１９）

抗癌化合物を選択するための方法であって、前記方法は、試験化合物がＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビター化合物であるか否かを決定する工程であって、ここでＣＢＰ／ＥＰ３００ブロモドメインインヒビター化合物である試験化合物は、抗癌化合物として選択される、工程を包含する、方法。

（項目２０）

前記試験化合物がＣＢＰおよび／もしくはＥＰ３００のＨＡＴドメインに結合するか否

かを決定する工程をさらに包含し、ここでＣＢＰおよび／もしくはＥＰ３００のＨＡＴドメインに結合しない試験化合物は、抗癌化合物として選択される、項目１９に記載の方法。

（項目２１）

前記試験化合物がＴｒｅｇ機能を抑制するか否かを決定する工程をさらに包含し、ここでＴｒｅｇ機能を抑制する試験化合物は、抗癌化合物として選択される、項目１９または２０に記載の方法。

（項目２２）

前記試験化合物がＣＤ８$^{+}$　Ｔ細胞のＴ細胞疲弊を低下させるか否かを決定する工程をさらに包含し、ここでＣＤ８$^{+}$　Ｔ細胞のＴ細胞疲弊を低下させる試験化合物は、抗癌化合物として選択される、項目１９～２１のいずれか１項に記載の方法。